



三珠中学校
学校便り

礎 ishizue

令和6年1月29日
文：校長 丹沢伸也

3学期が始まって一月、 新年度に向け飛躍できる学期に



2024年を迎え、はや一月が経とうとしていますが、いさつが遅くなりましたが、本年もどうぞ、よろしくお願ひします。

新年は、能登半島地震、羽田空港での旅客機の事故など、相次ぐ悲しいニュースで始まりました。

能登半島地震では、亡くなった方が200名を越え、生徒たちが生まれてからこれまで、死者が100名を越えるのは、東日本大震災、熊本地震に続いて3つ目になるそうです。

地震発生から4週間。ようやく再開する学校がある一方で、多くの学校が避難所となっていて、珠洲、能登の3市町で約400人の中学生がふるさとを一時離れ、集団で避難しながら、子供たちの学習の機会を保障するそうです。期間は約2か月間を想定しているそうですが、し

ばらくの間は、自習での学習で洗濯も自分たちで行わなければならぬそうです。

本校の生徒達も、コロナ禍の中、長く学校が休業した時には、日常の学校生活ができるありがたさを感じたはずです。今、能登半島の中学生が再び同じ思いをしていることでしょうか。そんな中、自分たちに振り返ってできることは、繰り返しになりませんが、「当たり前」の日常が過ごせることをありがたく思い、一日一日を一杯生きていること」だと思ひます。

「自分たちにできることは何もない」、そんな無力感を感じている時、新聞で、次の言葉が目にとまりました。「つらさへの共感が支えになる」という言葉です。今こうしている間も、つらい思いをしている人達のことには思いを馳せ、自分に置き換えて想像しながら生活していくこと、それが今できることだという気がします。

そんな中、生徒会で被災した方たちへ義援金の取り組みを行っています。できるだけ多くの生徒が協力してもらえるところれしく思います。

3学期は、陸上競技の三段跳びで例えれば、ホップ、ステップ、ジャンプのジャンプ、「飛躍」の学期です。異なる立場、環境で始まる4月の新しい生活に向け、大きく飛躍できる、そんな学期にしていきましょう。

第2回生徒総会(オープンスクール) 成果と課題、そしてバトンタッチ



1月25日(水)に第2回の生徒総会が行われ、年間の総括が行われました。今年度はコロナ禍の出口に向けて、以前通りの生徒会活動を取り戻す1年となりました。3年間の空白を経ての再スタートとなったわけですが、今の3年生は、2年間その手本を十分見ることができない中で進めなければならず、新しいことを始めるのと同じくらい大きなエネルギーが必要だったと思います。そんな中でしたが、大成功を収めた希珠祭、大きな歌声が戻った合唱発表会と、コロナ前と変わらないすばらしい生徒会

活動が進められたと思います。また、集会活動での交流活動や朝の挨拶活動など、執行部の願いやアイデアが反映され、大変成果の大きかった生徒会活動でした。生徒会執行部の皆さんには、「よくがんばった」とねぎらいの言葉をかけたと思います。

生徒総会では、1年間の活動で何が良くて、何が足りなかったか、その成果と課題が話し合われ、討議の柱に、「来年の生徒会活動でどんな取組をしたいか」が設けられ、その場でグループで話し合い、発表されました。

終了後には、新しい生徒会執行部が紹介され、任命式、引き継ぎが行われました。新しい役員は生徒達には、今日出された意見をしっかりと引き継ぎ、令和6年度の生徒会活動に確実に反映させて欲しいと思います。そうすることによってさらなる前進、発展があるのだと思います。この日は、第3回のオープンスクールも行われ午前中の授業参観、午後の生徒総会に保護者や学校評議員の皆さんにも参観していただきました。



制服に関するアンケート結果

12月に実施した制服に関するアンケートへのご協力ありがとうございました。概要を下の通りまとめましたので報告します。

- 1 アンケート名 「三珠中学校 制服に関するアンケート」
- 2 実施時期 令和5年12月18日～12月31日
- 3 対象 三珠中生徒及び保護者 上野小学校・大塚小学校の4年生以上の児童と保護者*小学校については、親子で相談し保護者が回答
- 4 回答数 三珠中生徒66 保護者92 (中学校43 小学校49)

【設問1】「制服の見直しについて、取り組む必要があると思うか。」

- 「早く取り組んだ方がいい」という回答は、生徒、保護者とも約3割ほどである。
- 「急がなくても必要に応じて良い」が最も多く、生徒が約4割、保護者が5割である。

【設問2】「見直すとしたら、どのような観点を重視して見直しをしたほうがよいと思うか。」

- 回答が多い内容(3割を超えた内容)
- <生徒> 1:着脱のしやすさ 2:寒暖への対応 3:機能性
- <保護者> 1:洗濯のしやすさ 1:寒暖への対応 3:価格 3:多様な性への対応 5:機能性 5:自分で選択できること

【設問3】「制服のタイプについて、どれが良いと思うか。」

- 生徒、保護者ともに最も多いのが「ブレザー型」(生徒5割、保護者4割)である。
- 生徒、保護者ともに回答数の多い順は、「ブレザー型」「男子学生服・女子セーラー服」「男女スーツ型」となっている。

【設問4】「制服でスラックス(ズボン)、スカートを選べるとしたら、どれを選びたいか。」*女子生徒と女子児童・生徒の保護者の回答のみ抽出

- 生徒の回答は、「スカート」(5割)、続いて「両方」(3割弱)、「スラックス」(2割弱)という順である。
- 保護者は「両方」(5割)、続いて「スカート」(3割)、スラックス(1割未満)となっている。

【設問5】「スラックス(ズボン)またはスカートを、個人の判断で選べる方が良いと思うか。」

- 「思う」が生徒は8割、保護者は9割を超えている。

【設問6】「夏に着用するシャツはどのタイプが良いと思うか。」

- 生徒は「Yシャツ、ポロシャツの両方」が最も多く(4割弱)、次いで「ポロシャツ」、「Yシャツ」となっている。
- 保護者は「ポロシャツ」が最も多く(5割半)、次いで「両方」、「Yシャツ」となっている。

【設問7】「制服が変更になった場合、移行期間の間、別のタイプの制服を着て過ごすことになるが、困ることがあると思うか」

- 生徒、保護者共に「思わない」が最も多い。(生徒約7割、保護者6割弱)



*詳しくは学校HPに載せてありますので、そちらからもご覧ください。右のQRコードからも見ることができます。今後、すぐに制服の見直しを進めるというわけではありませんが、必要な時が来た際には、この結果を参考にさせていただきます。ご協力、ありがとうございました。